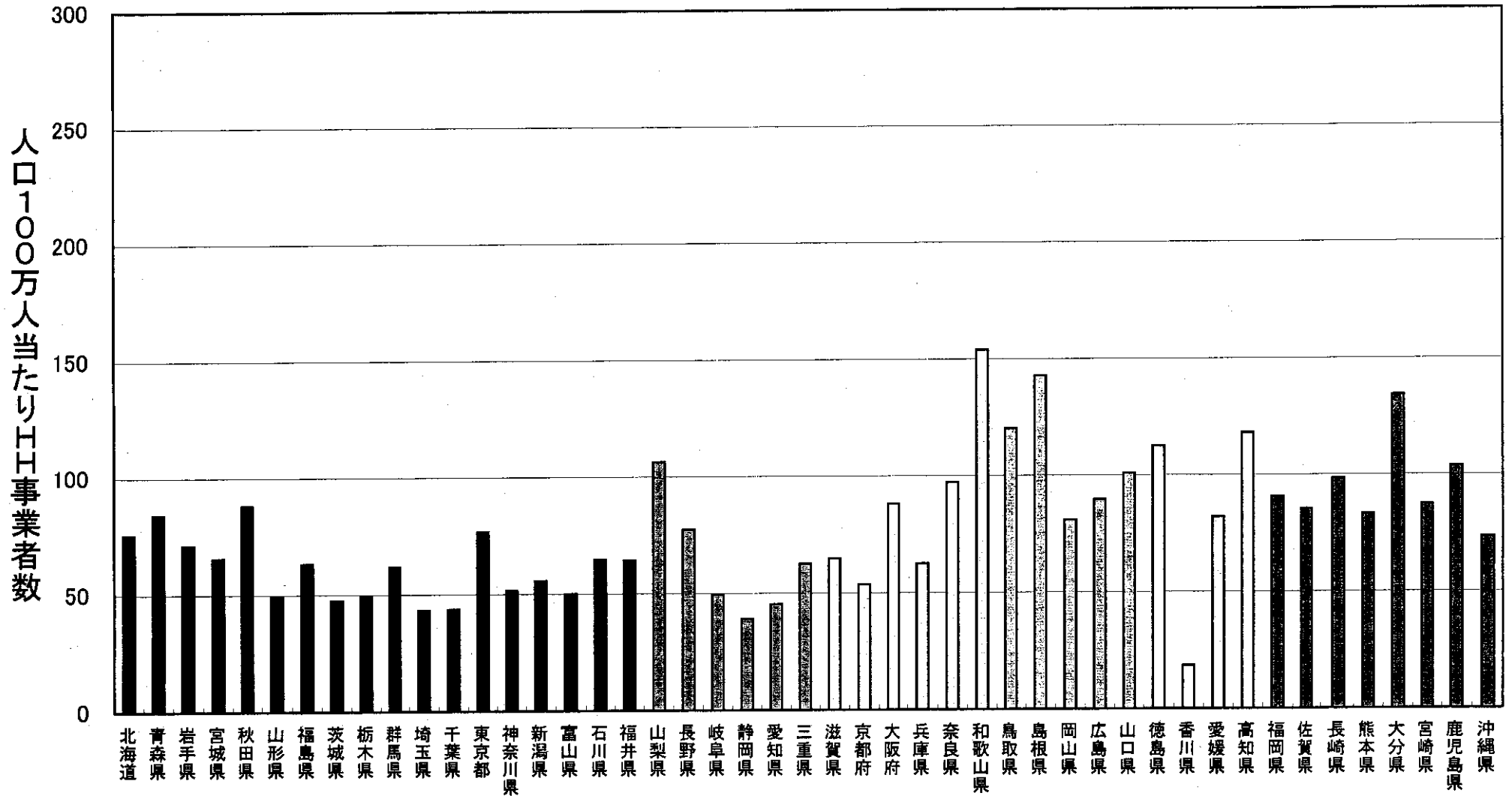


人口100万人当たりの身体障害者ホームヘルプ事業者数

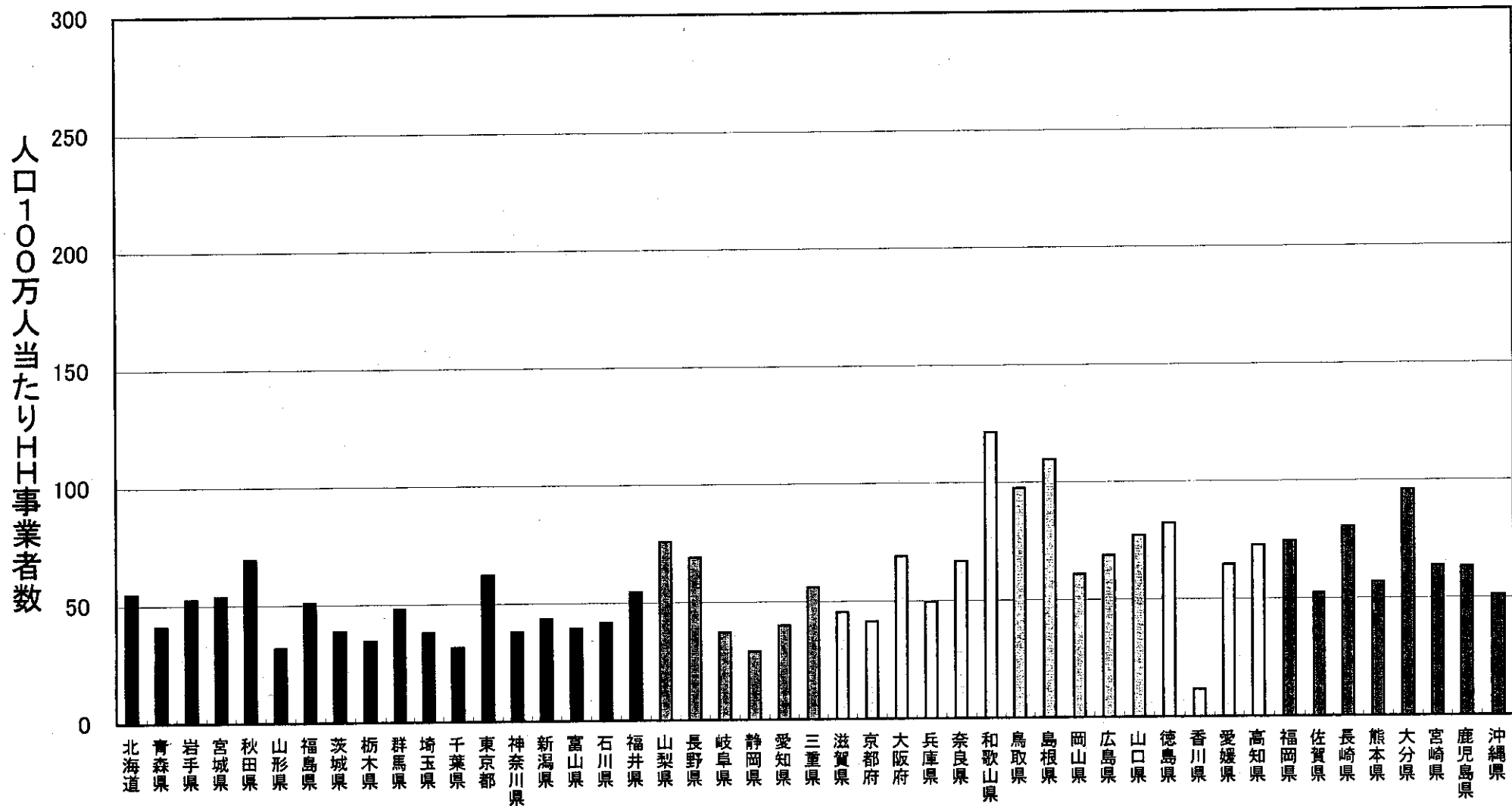
最大格差8.3倍



(データ出典) 厚生労働省障害福祉課調べ(平成15年7月)、全国市町村要覧(平成15年)

人口100万人当たりの知的障害者ホームヘルプ事業者数

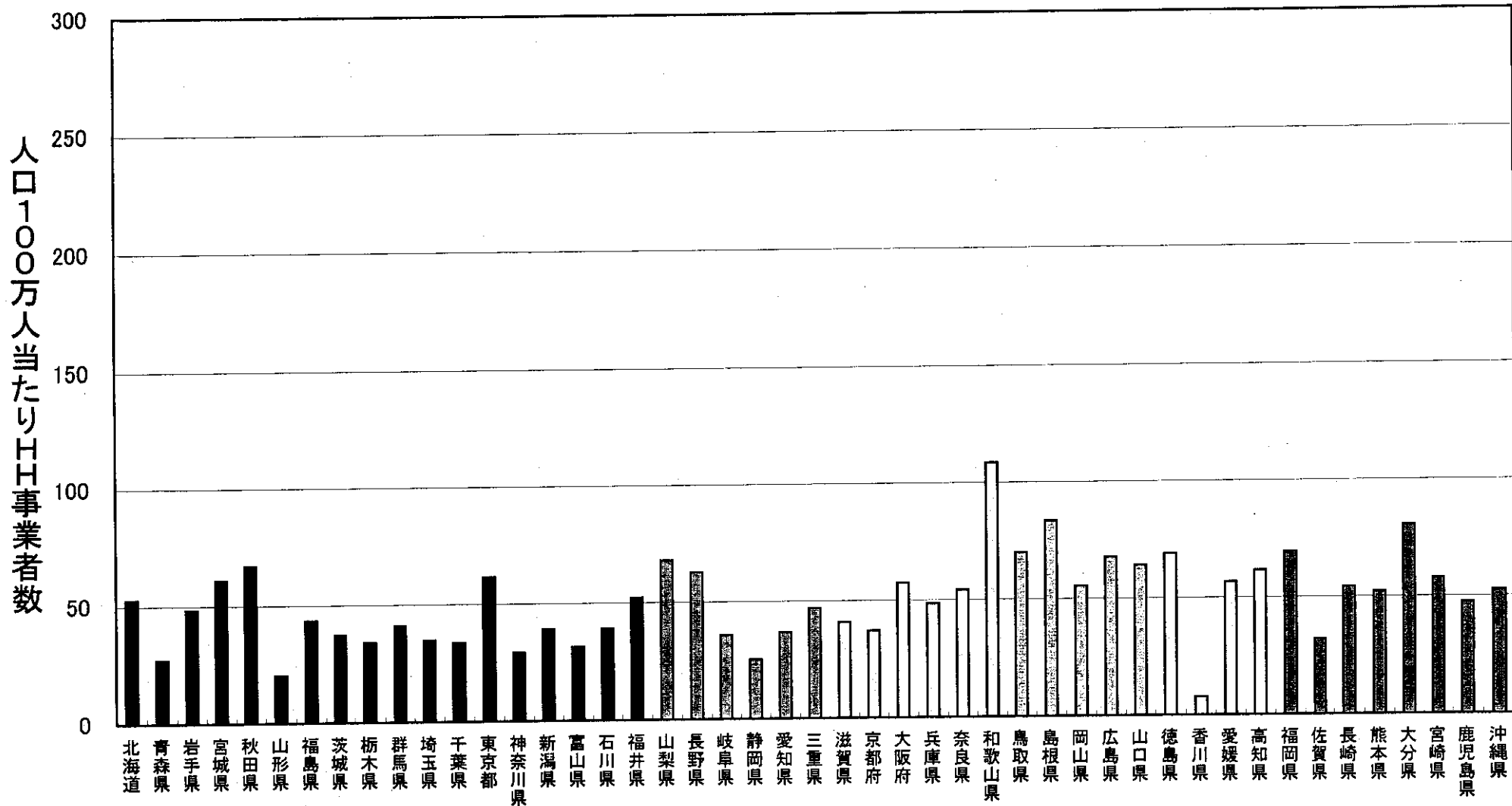
最大格差10.4倍



(データ出典) 厚生労働省障害福祉課調べ(平成15年7月)、全国市町村要覧(平成15年)

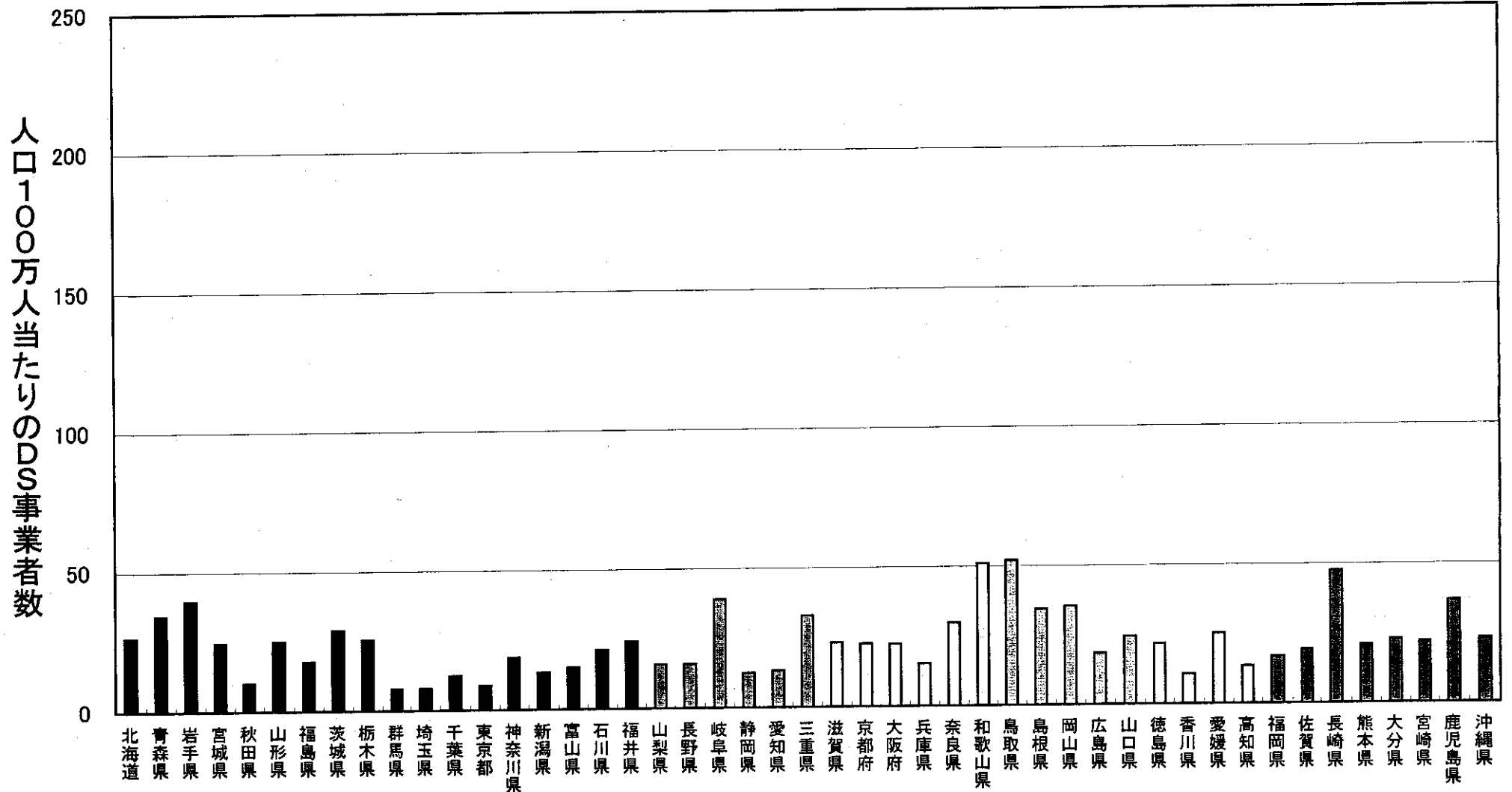
人口100万人当たりの障害児ホームヘルプ事業者数

最大格差14.0倍



(データ出典) 厚生労働省障害福祉課調べ(平成15年7月)、全国市町村要覧(平成15年)

人口100万人当たりの支援費デイサービス事業者数の地域差 最大格差6.6倍

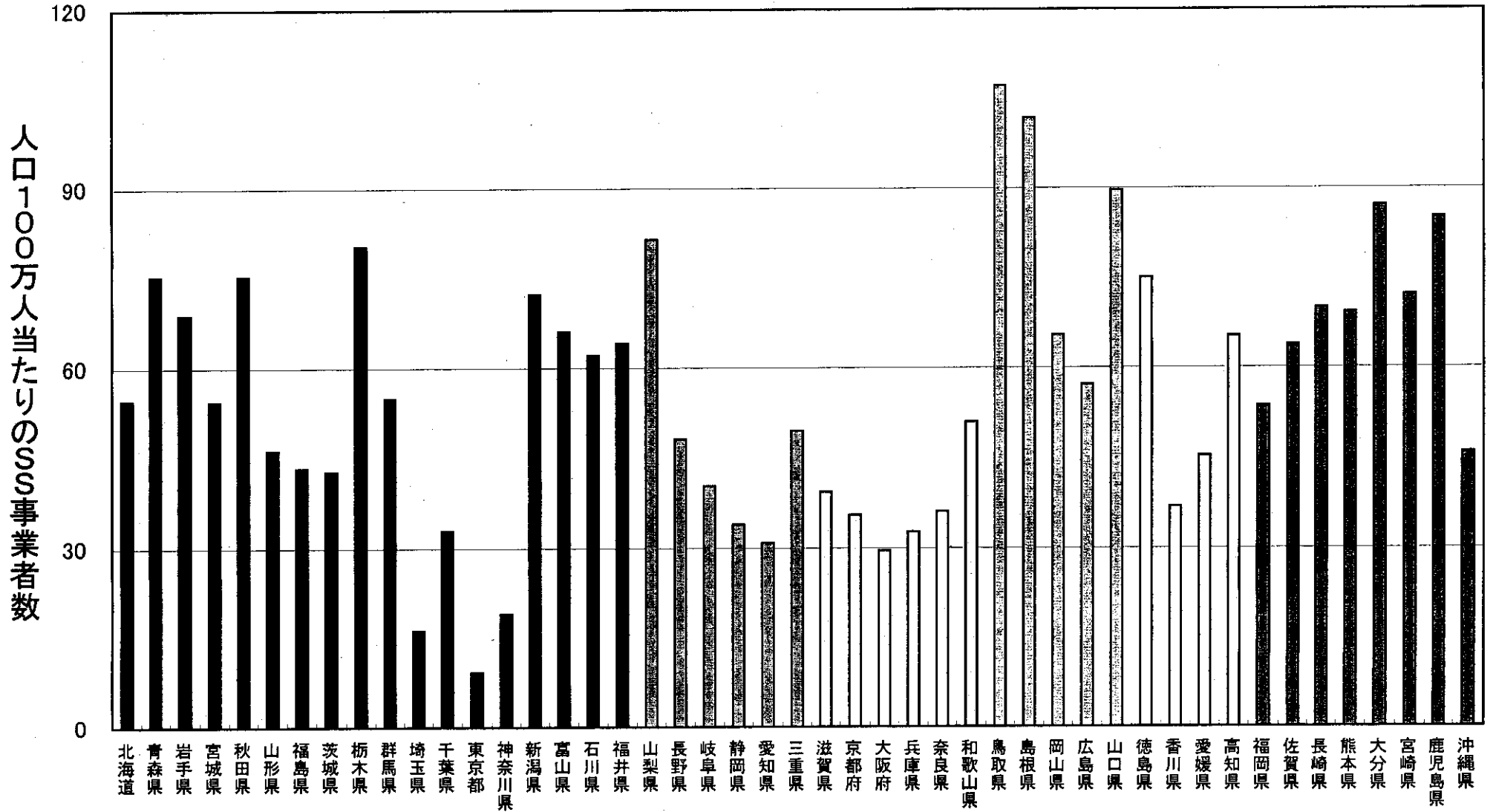


(データ出典) 厚生労働省障害福祉課調べ(平成15年7月)、全国市町村要覧(平成15年)

→
∞ (注)この分析に当たっては、身体障害者、知的障害者、障害児の各デイサービス事業者数を累計している。

人口100万人当たりの支援費ショートステイ事業者数の地域差

最大格差11.6倍

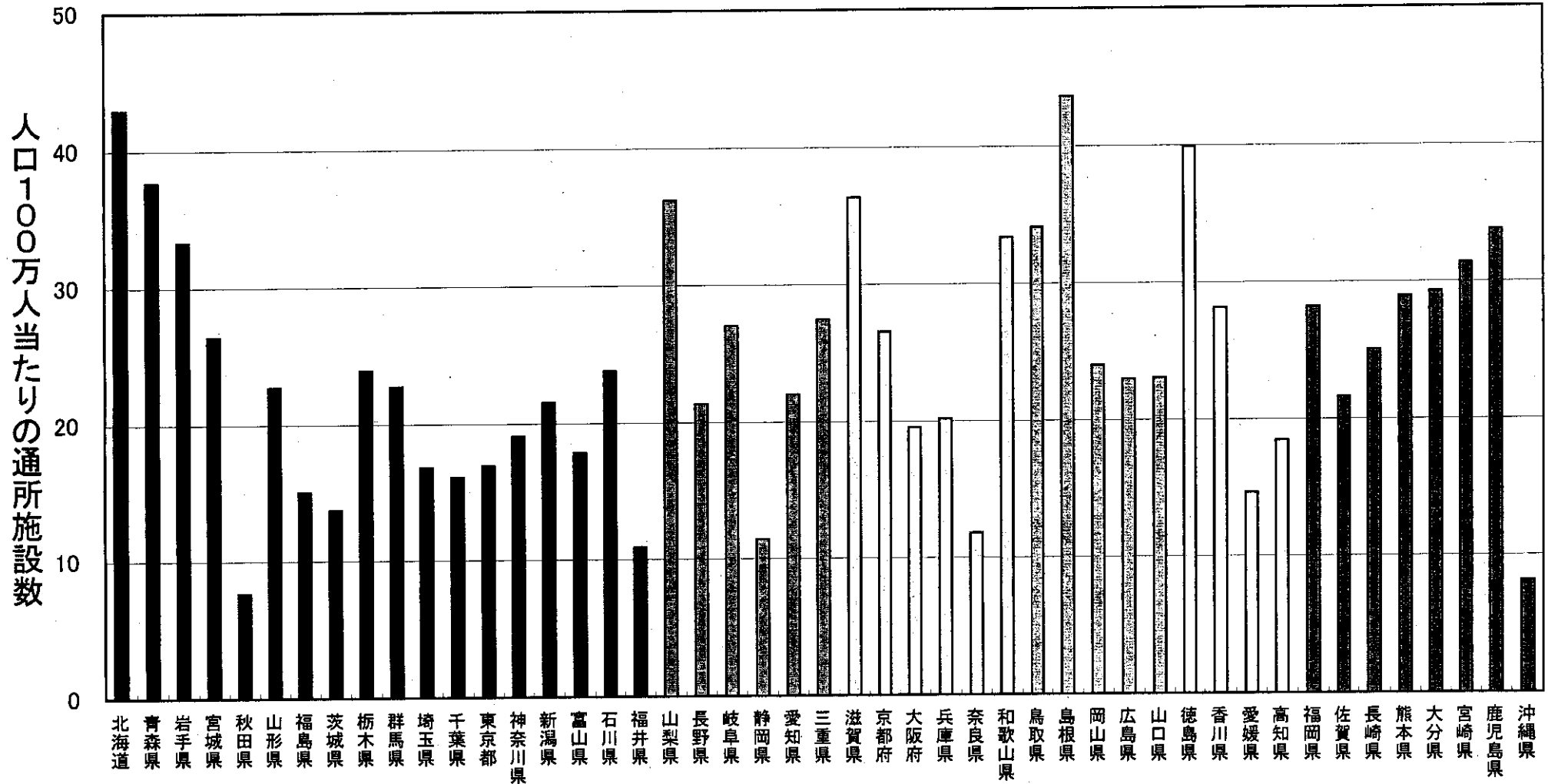


(データ出典) 厚生労働省障害福祉課調べ(平成15年7月)、全国市町村要覧(平成15年)

(注)この分析に当たっては、身体障害者、知的障害者、障害児の各ショートステイ事業者数を累計している。

人口100万人当たりの支援費の通所施設数の地域差 (通所更生施設、通所療護施設、通所授産施設)

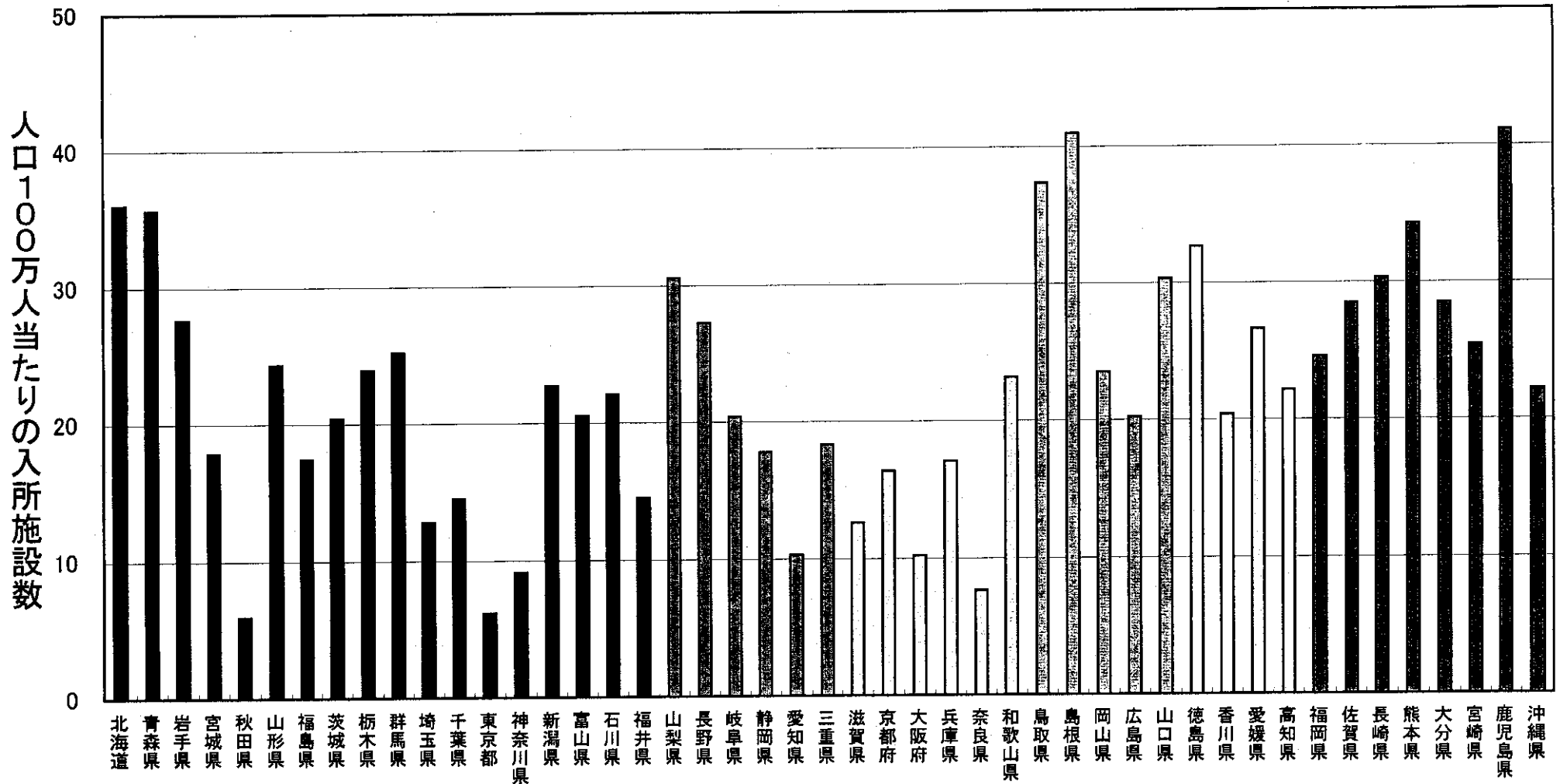
最大格差5.7倍



(データ出典) WAMネット(平成16年2月)、全国市町村要覧(平成15年)

人口100万人当たりの支援費の入所施設数の地域差 (入所更生施設、入所療護施設、入所授産施設)

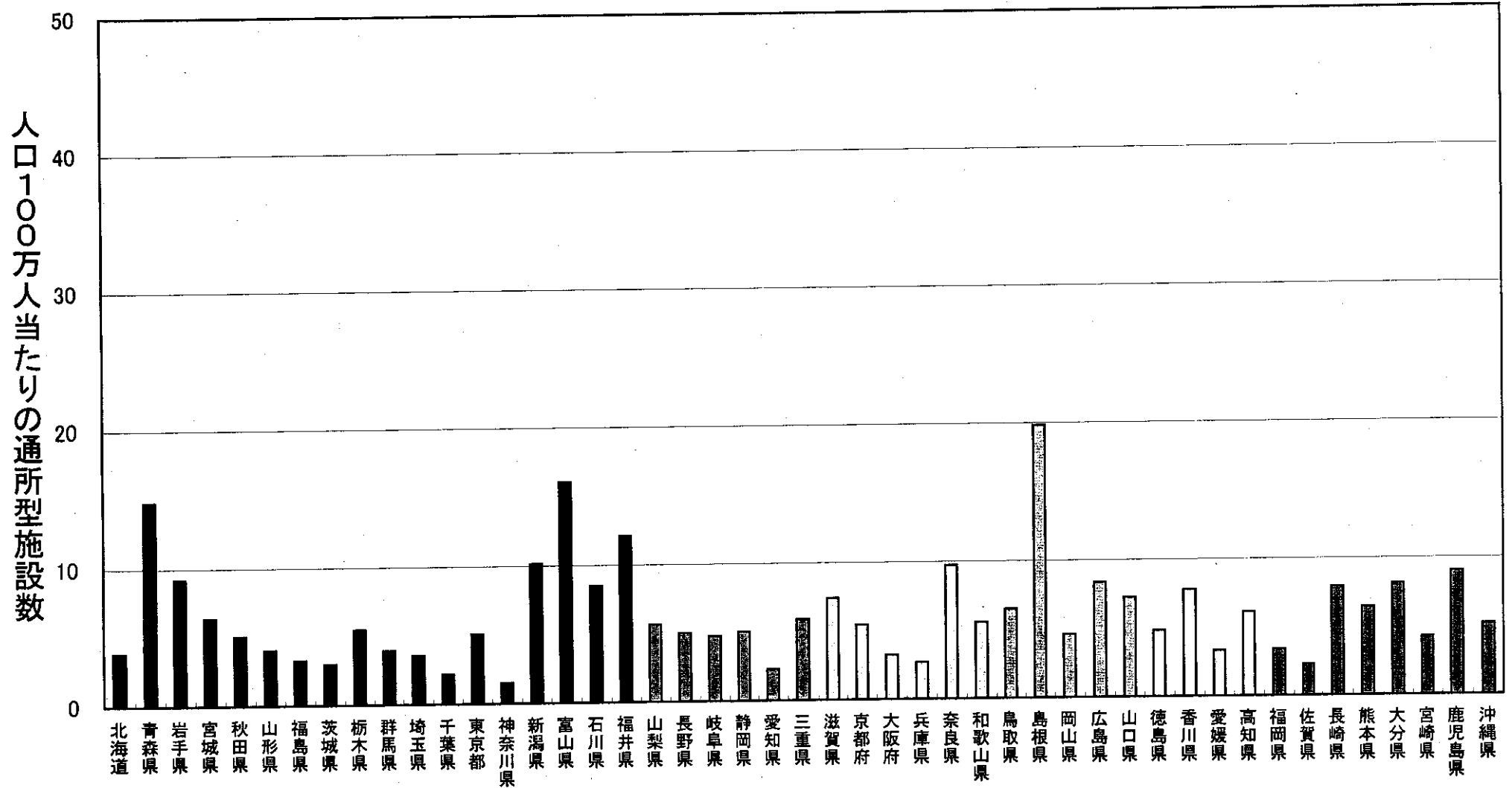
最大格差6.9倍



(データ出典) WAMネット(平成16年2月)、全国市町村要覧(平成15年)

人口100万人当たりの精神障害者通所型施設数 (通所授産施設、福祉工場、地域生活支援センター)

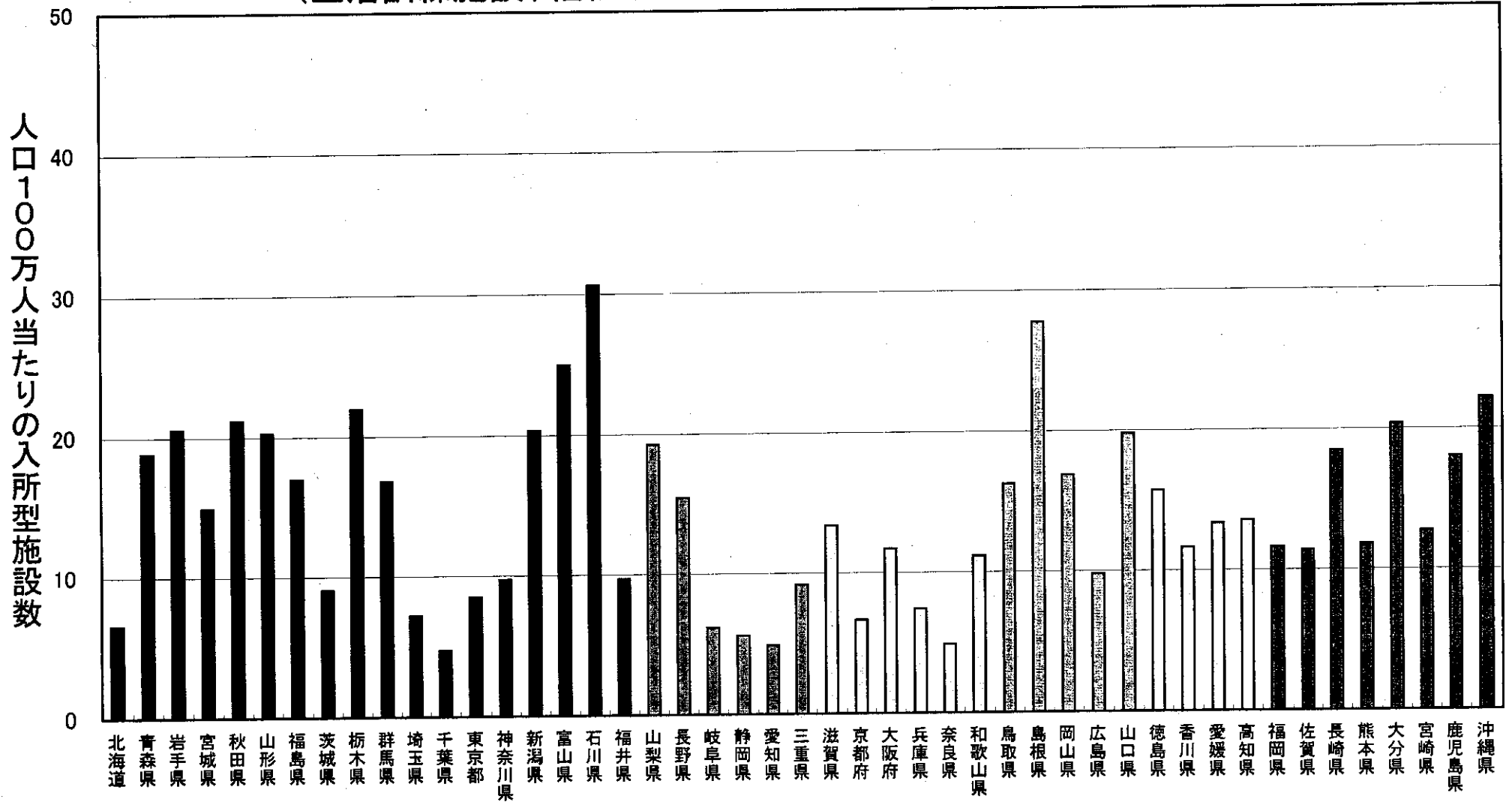
最大格差13.0倍



(データ出典)精神保健福祉資料(平成14年度)、全国市町村要覧(平成15年)

人口100万人当たりの精神障害者入所型施設数 (生活訓練施設、福祉ホーム、入所授産施設、グループホーム)

最大格差6.5倍



(データ出典)精神保健福祉資料(平成14年度)、全国市町村要覧(平成15年)

支援費制度と介護保険における 在宅サービス事業者数の比較

	支援費制度			介護保険
	身体障害者	知的障害者	障害児	
ホームヘルプサービス	8,470 (291)	6,537 (195)	5,882 (174)	20,292 (280)
デイサービス	1,047 (103)	592 (71)	600 (84)	13,581 (125)
ショートステイ	1,065	2,514	1,809	5,567

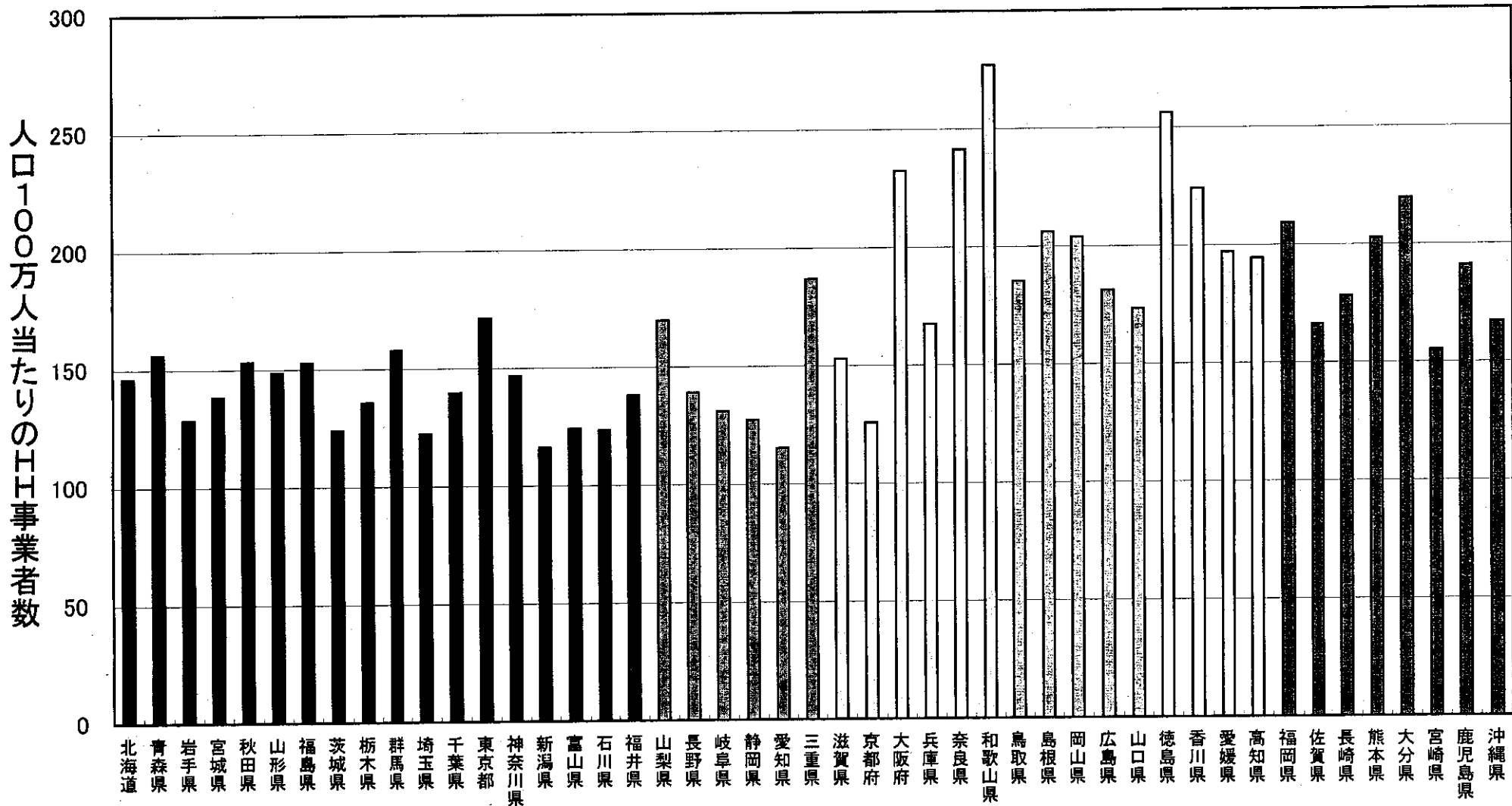
(注1) 事業所数は、支援費は平成15年7月1日現在、介護保険は平成16年1月31日現在である。

(注2) 表の上段は、指定事業所の数である。

(注3) かつこ内は基準該当の事業所の数である。

人口100万人当たりの介護保険ホームヘルプ事業者数の地域差

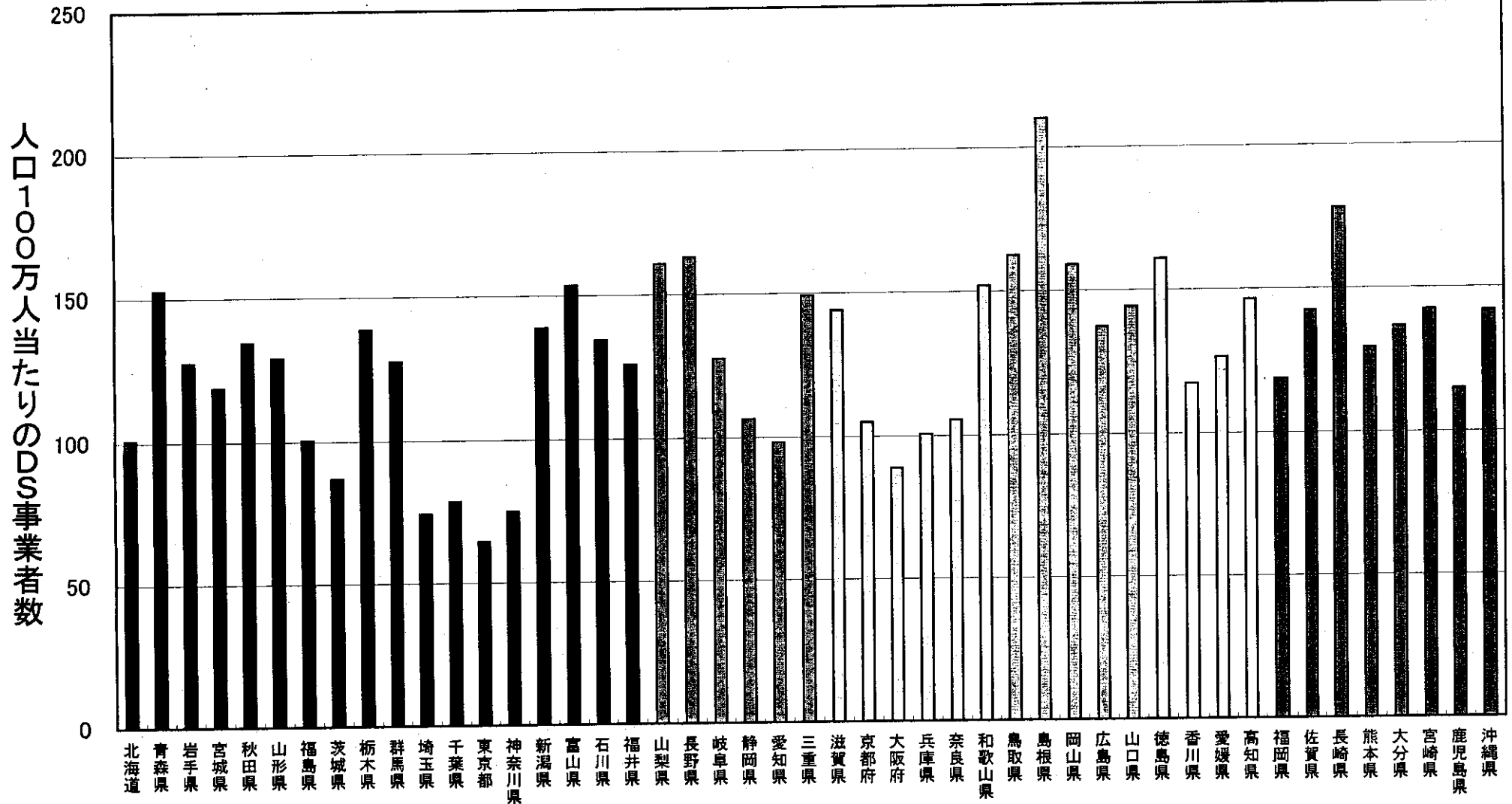
最大格差2.4倍



(データ出典) WAMネット(平成16年1月末)、全国市町村要覧(平成15年)

人口100万人当たりの介護保険デイサービス事業者数の地域差

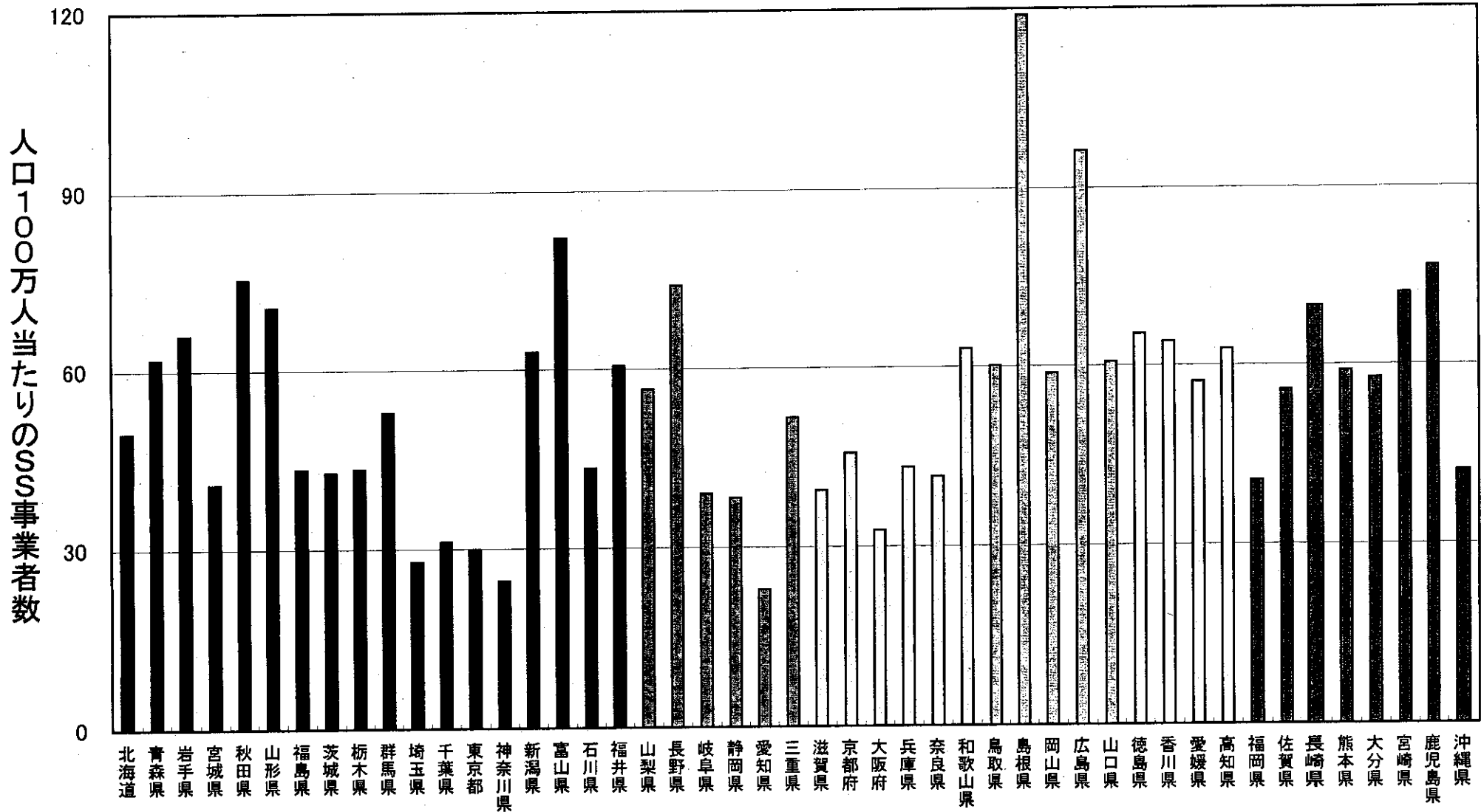
最大格差3.3倍



(データ出典) WAMネット(平成16年1月末)、全国市町村要覧(平成15年)

人口100万人当たりの介護保険ショートステイ事業者数の地域差

最大格差5.2倍



(データ出典) WAMネット(平成16年1月末)、全国市町村要覧(平成15年)